

● 令和5年度東京都予算編成に対する要望

小池百合子都知事は就任以来、業界団体との次年度予算に係る意見交換を行っています。今年度は12月16日（金）11時から都庁第一本庁舎7階会議室において、関会長、塚本専務、山口参事、永阪室長の4人で知事に令和5年度東京都予算編成に係る要望書を提出しました。要望内容等は以下のとおりです。

【島しょ漁業の現状】

- ・ 広大な海域で営まれ、都民に新鮮で多様な水産物を供給
- ・ 地域経済を支える重要な産業の一つであるが、近年は漁業者の減少や高齢化、海洋環境の変化等から漁獲量は減少傾向
- ・ 比較的漁獲の安定したキンメダイ漁業への依存度を高めているが、その資源も減少傾向にあるなど、課題が山積み

【要望事項】 * 印は口頭意見、・ 印は具体的な取組

① 東京の主要な水産資源の持続的な利用

* 漁獲共済制度の掛金助成、漁船を活用した操業データ収集システムの構築、磯根資源の減少に対する島しょセンターの研究強化

② 漁協・漁家経営の安定

* 八幡丸運賃補助、燃油セーフティーネット掛金助成、魚箱購入費助成の継続、イルカ被害の軽減対策

③ 島しょ農林水産総合センター及び栽培漁業センターの機能強化（建替ほか）

④ 漁業の担い手確保・育成

・ 東京都と町村、漁業系統団体との相互連携強化、長期研修等の支援

⑤ 東京産水産物のPRと販路の多角化

・ 販路開拓イベントの開催支援

⑥ 漁業施設及び漁場の整備

・ 生産基盤施設の更新補助、環境変動に順応した漁場造成手法の検討、整備補助率の現状維持

